

目標の柱	5	町民と行政との協働によるまちづくりと未来を拓く行政経営
基本目標(政策)	5-2	未来を拓く行政経営を行います
基本計画(施策)	5-2-1	・効率的・効果的な行財政運営

	課	係
主管課・係	総務課	財政係
関係課・係	総務課	総務係・管財係
	総合政策課	企画政策係・広報情報係
	会計室	

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町財政の健全化を図り、迅速な行政課題解決につながる効率的・効果的な行財政運営を目指す。 ②住民が満足する行政サービスの実施。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①財政健全化判断比率(実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率・資金不足比率)等、財政指標の安定化。 ②総合振興計画を中心に各種計画との連動により、行財政基盤の強化と住民サービスの維持向上を図る。 ③厳しさを増していく財政状況や限られた人的資源の中で、質の高い、地域にふさわしい公共サービスの提供を行う。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 経常収支比率</td> <td>%</td> <td>88.7</td> <td>※90.0</td> <td>90.3</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>B 実質公債費比率</td> <td>%</td> <td>5.3</td> <td>6.1</td> <td>5.4</td> <td>5.9</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>C 地方債起債残高</td> <td>百万円</td> <td>15,978</td> <td>※16,000</td> <td>16,951</td> <td>17,400</td> <td>17,500</td> </tr> <tr> <td>D 基金残高</td> <td>百万円</td> <td>5,550</td> <td>5,224</td> <td>5,745</td> <td>5,052</td> <td>4,500</td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 経常収支比率	%	88.7	※90.0	90.3	90.0	90.0	B 実質公債費比率	%	5.3	6.1	5.4	5.9	5.8	C 地方債起債残高	百万円	15,978	※16,000	16,951	17,400	17,500	D 基金残高	百万円	5,550	5,224	5,745	5,052	4,500	<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>人件費や維持補修費が増加したものの、職員の経常経費に対する意識向上により、適正に予算執行されたため。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>経常経費の削減について、職員の意識が高まっていることから、現状維持を最低限の目標にしなが、改善を図っていく。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>地方債発行予定計画等により、中長期的な地方債の活用と公債費負担の平準化を図っているため。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>大型事業の地方債償還を見据えた減債基金の積立を行うなどの対策をとっていたため、達成可能である。</td> </tr> <tr> <td>C ② 上回った</td> <td>前年度からの繰越事業や学校情報通信設備整備事業など、突発的な地方債の発行等があったため。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>災害や国の施策による新たな地方債の発行の有無により達成度合も変わってくるが、概ね達成可能と思われる。</td> </tr> <tr> <td>D ① 大きく上回った</td> <td>広域圏組合基金の返還に伴う財政調整基金の積立など、基金全体として取崩額より積立額が上回ったため。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>冬場の降雪や新型コロナウイルス感染症対策など、追加での予算計上の有無により変わってくるが、概ね達成可能と思われる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	人件費や維持補修費が増加したものの、職員の経常経費に対する意識向上により、適正に予算執行されたため。	③ 取組改善で達成可能	経常経費の削減について、職員の意識が高まっていることから、現状維持を最低限の目標にしなが、改善を図っていく。	B ④ 下回った	地方債発行予定計画等により、中長期的な地方債の活用と公債費負担の平準化を図っているため。	② このままで達成可能	大型事業の地方債償還を見据えた減債基金の積立を行うなどの対策をとっていたため、達成可能である。	C ② 上回った	前年度からの繰越事業や学校情報通信設備整備事業など、突発的な地方債の発行等があったため。	③ 取組改善で達成可能	災害や国の施策による新たな地方債の発行の有無により達成度合も変わってくるが、概ね達成可能と思われる。	D ① 大きく上回った	広域圏組合基金の返還に伴う財政調整基金の積立など、基金全体として取崩額より積立額が上回ったため。	③ 取組改善で達成可能	冬場の降雪や新型コロナウイルス感染症対策など、追加での予算計上の有無により変わってくるが、概ね達成可能と思われる。
			単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																																					
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																																							
A 経常収支比率	%	88.7	※90.0	90.3	90.0	90.0																																																							
B 実質公債費比率	%	5.3	6.1	5.4	5.9	5.8																																																							
C 地方債起債残高	百万円	15,978	※16,000	16,951	17,400	17,500																																																							
D 基金残高	百万円	5,550	5,224	5,745	5,052	4,500																																																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ③ ほぼ目標値どおり	人件費や維持補修費が増加したものの、職員の経常経費に対する意識向上により、適正に予算執行されたため。	③ 取組改善で達成可能	経常経費の削減について、職員の意識が高まっていることから、現状維持を最低限の目標にしなが、改善を図っていく。																																																										
B ④ 下回った	地方債発行予定計画等により、中長期的な地方債の活用と公債費負担の平準化を図っているため。	② このままで達成可能	大型事業の地方債償還を見据えた減債基金の積立を行うなどの対策をとっていたため、達成可能である。																																																										
C ② 上回った	前年度からの繰越事業や学校情報通信設備整備事業など、突発的な地方債の発行等があったため。	③ 取組改善で達成可能	災害や国の施策による新たな地方債の発行の有無により達成度合も変わってくるが、概ね達成可能と思われる。																																																										
D ① 大きく上回った	広域圏組合基金の返還に伴う財政調整基金の積立など、基金全体として取崩額より積立額が上回ったため。	③ 取組改善で達成可能	冬場の降雪や新型コロナウイルス感染症対策など、追加での予算計上の有無により変わってくるが、概ね達成可能と思われる。																																																										
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方債発行予定計画による適正な地方債の発行と管理。 ・基金の積み増しの実施。 ・当初予算編成時に重点施策を明確にし、査定を通して予算配分の重点化と無駄のない経費の計上を実施。 ・行政改革大綱及び実施計画に基づいた計画的な事業の実施。 																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>住民で組織する行政改革懇談会を開催し、今までの取組とこれからの行政改革の推進について提言を受けた。</p>																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方債及び基金の適正な管理と予算編成・執行における職員の意識改革が図られている。 ・行政改革大綱実施計画の中で、計画的に行政改革の推進が図られている。 <p>《課題》</p> <p>現在まで、財政的な視点で物件費、維持補修費といった性質別に削減目標を掲げるなどして一般財源の削減を行ってきたが、数値上限界があることから、縮小する分野、撤退する分野(選択と集中)を明確にしないと、財政指標上は良好な値となっても効果的な事業実施につながらない恐れがある。</p>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>本町の予算構造は、地方交付税をはじめとした依存財源の割合が高いことから、財政健全化判断比率等の財政指標の安定化を図るため、普通建設事業を中心とした歳出予算の平準化や事務事業の見直し等を行うことにより、振興計画を中心とした各種計画に定めた各施策の取組が、より効率的・効果的に実施することができる。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>職員一人ひとりが現状を把握し、現在の取組を引き続き実施するとともに、全体として縮小する分野、撤退する分野(選択と集中)の明確化を振興計画を中心とした各種計画との連動しながら行い、行財政基盤の強化と住民サービスの維持向上を図っていく。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	公共施設等総合 管理計画及び個 別施設計画	総務課	目的	今後の公共施設等の更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行う。		
			概要	公共施設の現状と将来の見通し及び総合かつ計画的な管理に関する基本的な方針を示す。		
			成果	令和2年度は6施設を除却、4施設を地元集落等へ譲渡し、計画どおりの執行が図られました。		
		管財係	問題	財源の確保。		
			対策	①継続 毎年度の財政状況を見据えて実行に移す。		
			事業費	0	0	0
02	行政改革推進事 業	総務課	目的	厳しい財政状況の中でも安全かつ良質な公共サービスが確実、効率的に実施されるよう、行政改革に取り組む。		
			概要	第3次南会津町行政改革大綱の検証結果を踏まえ、新たな第4次南会津町行政改革大綱の策定を行った。		
			成果	令和3年度から令和7年度の新たな推進期間とする第4次南会津町行政改革大綱の策定を行った。		
		総務係	問題	第3次南会津町行政改革大綱では、毎年の進行管理に不十分な点もあった。		
			対策	①継続 実効性のある行政改革を実現するため、確実な対応を行っていく。		
			事業費	0	115	69
03			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			0	115	69	69